

ゼロからはじまる、無限の創薬力

 GENE TECHNO SCIENCE

MOthers 証券コード: 4584

株式会社ジーンテクノサイエンス

2014年3月期第2四半期 決算説明会

2013年11月13日

業績ハイライト

◆ 2014年3月期第2四半期(累計)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
8/5発表予想(A)	156	△381	△384	△386	△183.33
実績(B)	156	△186	△188	△190	△90.35
増減額(B-A)	0	195	196	196	

予定通り達成！

提携先への支払条件が当初の
想定と異なったことから、会計上
は研究開発費が期ずれとなった。



実態の開発活動は予定通り進捗。

2014年3月期 上半期
2大イベント

日本初の バイオ後続品 発売！！

2013年5月、富士製薬工業、持田製薬よりG-CSFバイオ後続品の販売を開始。

がん化学療法における好中球の減少等に対し安価に薬剤を提供できるようになった。

伊藤忠グループと 資本業務提携！！

2013年8月、伊藤忠ケミカルフロンティアとの資本業務提携。

バイオ後続品1品目の共同開発の加速により、グローバル展開に厚みを増した。

当社の最重要戦略: バイオ後続品を成長ドライバーに!

バイオ後続品の特長

- ①新薬と比べて開発期間が短い
- ②開発失敗のリスクが非常に小さい
- ③患者負担の軽減と医療費抑制に貢献
(高齢化社会に向けて市場が拡大)

バイオ後続品の参入障壁

- ①バイオ医薬品の開発プロセスが必要
→バイオ医薬品の開発経験者が少なく、参入が難しい
- ②新薬と比べて薬価が低い
→固定費が大きい大手企業であるほど採算が合わなくなる可能性が高い

GTSの競争優位性

開発経験者が豊富な少数精鋭集団

確実性の高いバイオ後続品によりCash Cowを早期に獲得

専門家集団だからできるバイオ後続品のバリューチェーン



バイオ医薬品の専門家集団による
的確かつ迅速なプロジェクト推進



世界の最適なパートナーと提携し
製品の価値最大化を実現



GTSが狙うバイオ後続品市場

バイオ後続品のグローバル市場(当社概算)

||

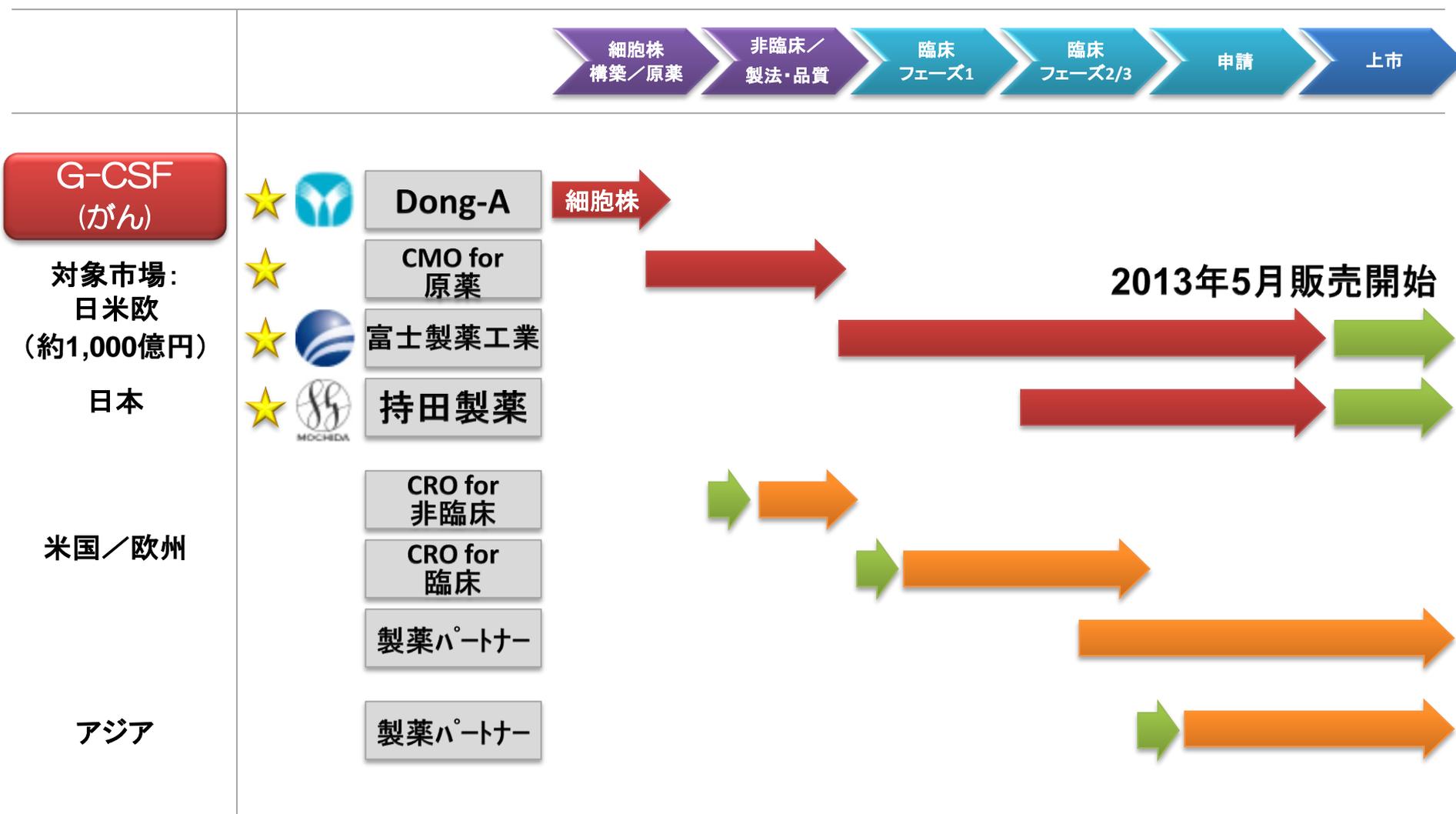


||

約5兆円

この巨大マーケットの制覇に向けて！！

バイオ後続品事業 パイプライン開発進捗状況(1)



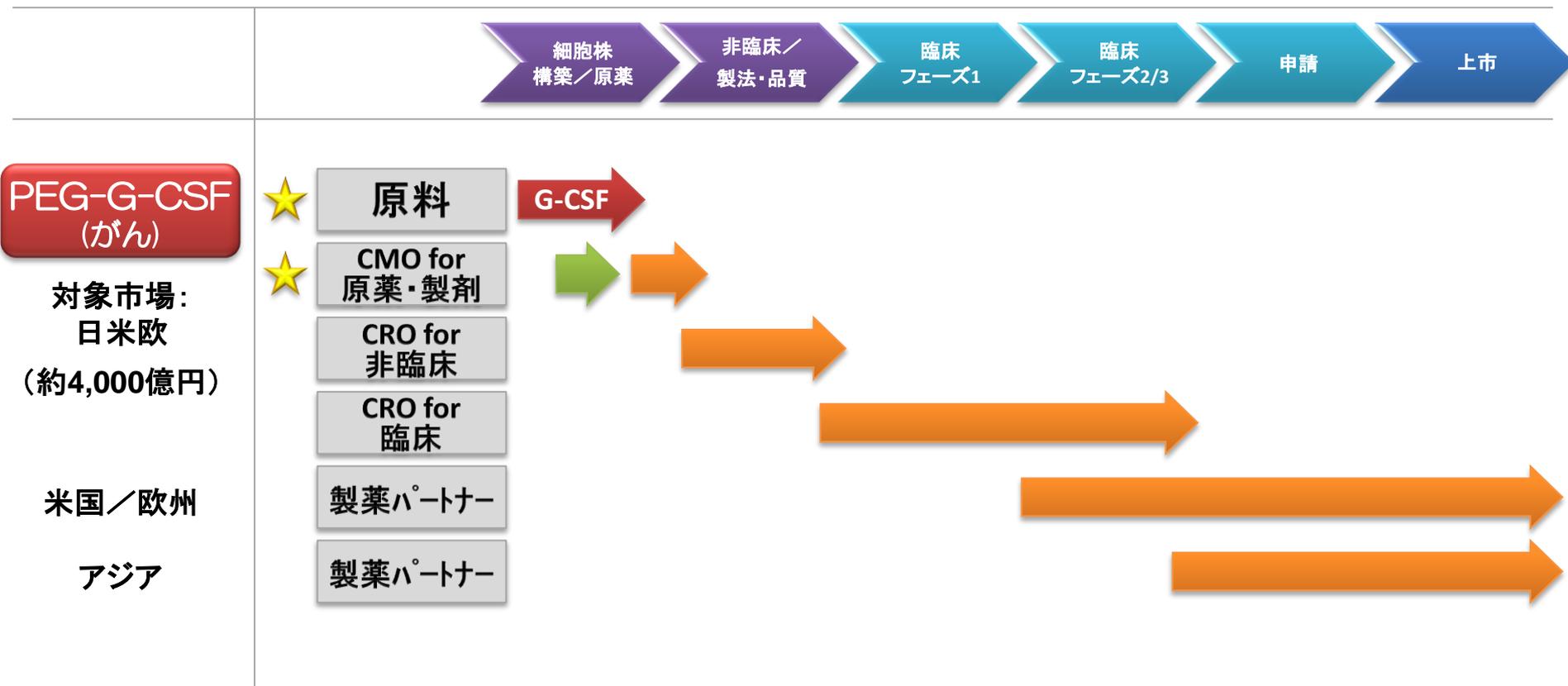
★提携済

➡前年度までの実績

➡2013年度進捗

➡2014年度以降の予定

バイオ後続品事業 パイプライン開発進捗状況(2)



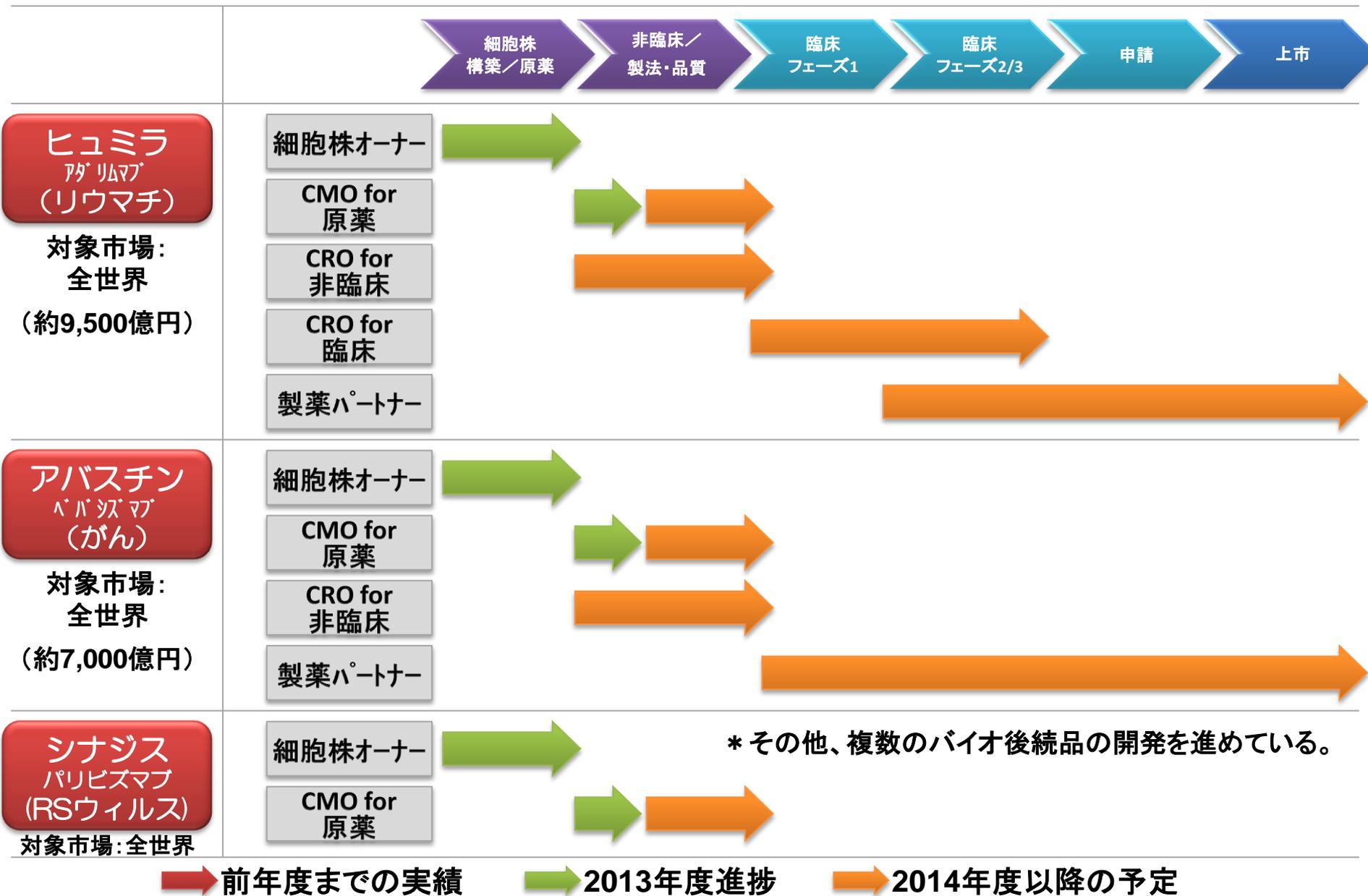
★提携済

→前年度までの実績

→2013年度進捗

→2014年度以降の予定

バイオ後続品事業 パイプライン開発進捗状況(3)



バイオ新薬事業ハイライト

個別化医療に向けた次世代
医薬品創出基盤技術開発
【経済産業省】

“基盤技術強化”

抗体を活用した次世代DDS技術の確立

ものづくり中小企業・小規模
事業者試作開発等支援補助金
【北海道中小企業団体中央会】

“生産技術強化”

高産生細胞株の樹立

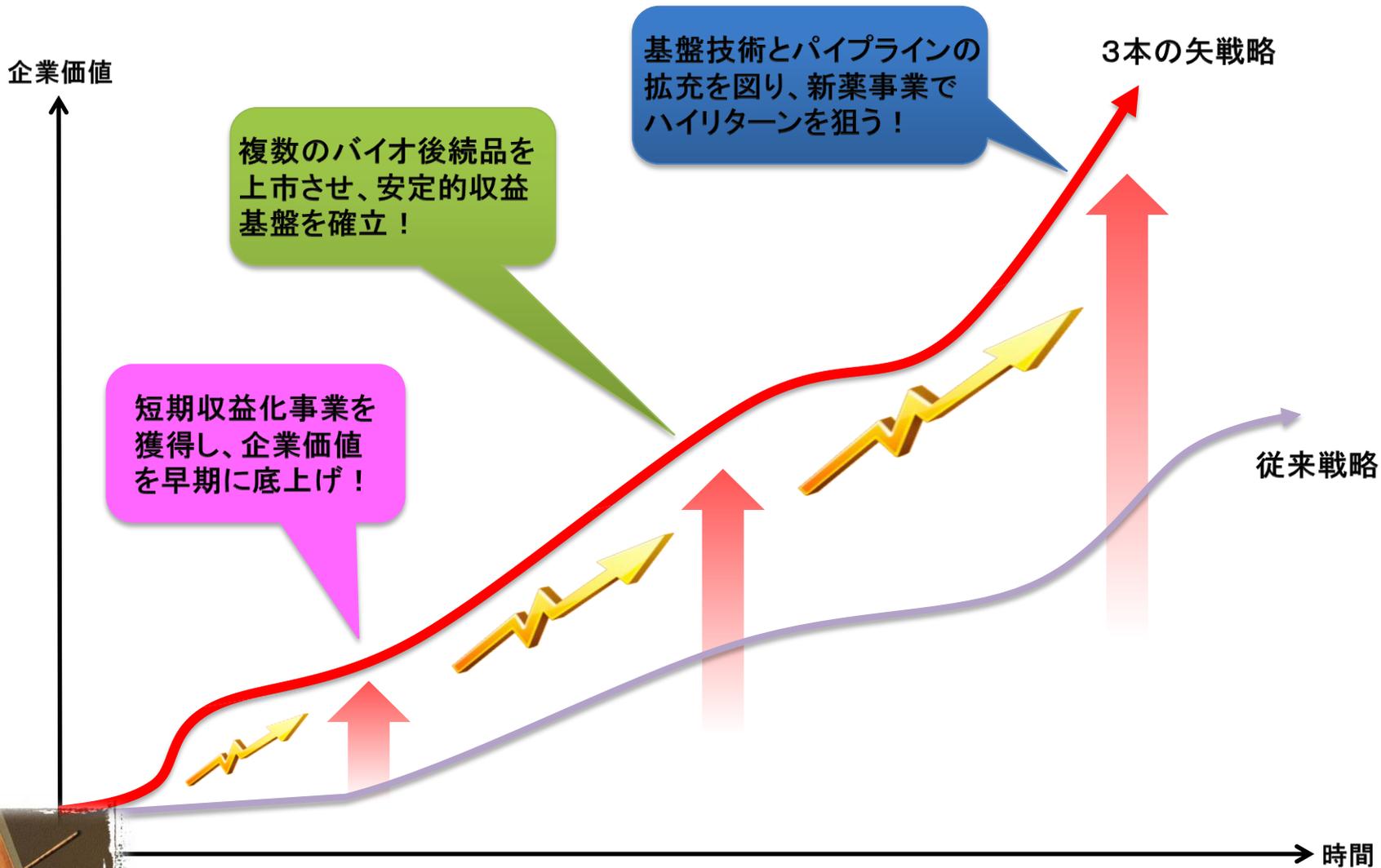
イノベーション創出研究支援事業
【ノステック財団】

“パイプライン強化”

次世代抗インテグリン薬の開発

各種助成金の獲得による
GTS研究基盤の強化

3本の矢戦略による企業価値イメージ





ご注意事項

本資料は投資家の参考に資するため、株式会社ジーンテクノサイエンス(以下、弊社)の現状を理解していただくため作成したものです。

本資料に記載された内容は、現時点で一般に認識されている経済・社会の情勢及び弊社が合理的と判断した前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。



お問い合わせ先

管理部

TEL 03-3517-1353

ゼロからはじまる、無限の創薬力